



第126号

管理組合・自治会ホームページ://tutsuji.net メール:info@tutsuji.net 2006年11月15日

「市内クリーン運動」にご参加下さい！

昭島市では、清潔で快適な生活環境にするため、市内クリーン運動を実施します。つつじが丘北自治会として、市内の美化運動に協力し、参加いたします。

住民の皆様にはお忙しいことは存じますが、市内の美化運動に約1時間のボランティア活動のご協力をよろしくお願いいたします。

日にち：12月3日(日) 集合時間：午前8時30分 終了予定：9時30分
集合場所：16号棟事務所前 清掃場所：団地周辺の公道(詳細は当日ご説明いたします)
天候：小雨決行 集合してから中止の場合もあります。ご承知おき下さい。
その他：軍手、ゴミ袋は用意します。

やめようベランダでの迷惑行為 - その1 -

ベランダでタバコを吸わないで！

最近、ベランダで吸うたばこの煙が家の中に入って来て困っているという声がよく聞かれます。「一言注意したくてもけんかは嫌だし、どのようにしたらよいでしょうか」と管理組合への相談や、ホームページをとおしての意見、アゼリア自治会にも切実な投書が寄せられています。

タバコを吸われる方は、自分の家族に煙を吸わせたくないし、自宅の空気や壁を汚したくないとベランダに出て吸っているのだと思いますが、この煙が隣や上下階の部屋に入り結果的に近所迷惑となっていることにお気づきでしょうか。私たちの住んでいる所は壁ひとつしか隣と離れていません。喫煙者にとって、たいしたことではないと思われても、乳幼児のいる家、呼吸器が弱い人にとっては、有害物質を吸わされることを恐れ、暑くても窓を開けることができずに腹立たしい気持ちを抱いているのです。「ベランダでの喫煙が許されるのなら、サンマやくさを焼いてもいいですね」という人も出てきかねません。

「じゃあ俺たちはどこで吸えばいいんだ！」という質問には「タバコは家の中にある空気清掃機の前で吸って下さい」ということになるのでしょうか。

健康増進法という法律が施行され、私鉄の駅などでも全面禁煙となり、できるだけ大勢の人を有害物質から守ろうとする動きも活発です。タバコの煙は、吸っている本人よりも副流煙によって強制的に吸わされている人の方に害が多いと言われていました。

また、最近では火のついたタバコのベランダからの投げ捨てが問題になっています。一つ間違えば投げ捨てたタバコが原因で火事になることも考えられます。ベランダからの火のついたタバコの投げ捨ては絶対に止めてください。

ベランダ喫煙により、近所に迷惑と感じている人がいるということぜひ認識されるようお願いいたします。

やめようベランダでの迷惑行為 - その2 -

フトンたたきは逆効果

秋の日をたっぷり浴びた布団はとても気持ちが良いものです。しかし、上の家が布団をたたくパン！パン！という音はホコリが落ちてくるようで、あまり気持ちのいいものではありません。タバコと同じく近所迷惑です。

最近では、布団をたたくことは逆効果であるといわれています。まず、たたくことにより、せっかく含んだ暖かい空気を追い出し、繊維が細かく切れてほこりが出やすくなる、ダニの死骸が表面に集まり、アレルギーの素(アレルゲン)が増える、その上、生きていたダニを減らす効果はない。などです。どうしたらよいのか？掃除機で布団表面を吸い取ることが効果ありとされています。布団専用のノズルを売っている店もあります。布団にも自分にも近所にも優しい方法をお勧めします。

やめようベランダでの迷惑行為 - その1 -、 - その2 - は2003年の自治会広報に掲載された記事に一部加筆し転載しています。

文中の「アゼリア自治会」の名称は2003年当時の自治会名称です。

地震に備えて

いま 一人ひとりにできること!!

11月19日(日)に「自分たちのまちは自分たちで守ろう」を合言葉に防災訓練を実施します。そこで東京消防庁が作成した「地震その時10のポイント」を参考にして家族や隣近所での話題にしてください。

グラツときたら身の安全

- ・大きな揺れの間は、丈夫なテーブルや机などの下に身を伏せる。
- ・近くに机などが無い時は、座布団などで頭を保護する。
- ・大揺れの場合、家具類が倒れたり窓ガラスが割れたりするため、そばに近寄らない。
- ・日頃から家具類には転倒防止措置を行い、高い所には置物やケースを載せない。

すばやい消火 火の始末

- ・小さな揺れでも火を消す習慣をつける。
- ・火災の発生に備え、消火器の準備や風呂の水の汲み置きをしておく。
- ・防災訓練に参加し、自信を持って消火ができる行動力を身につける。
- ・普段、使っていない電気器具は、差し込みプラグをコンセントから抜いておく。

窓や戸を開け 出口を確保

- ・地震によりドアがゆがみ、開かなくなって部屋に閉じ込められる場合があるので、地震が発生したら、いつでも外へ避難できるように出口を確保する。
- ・開けたドアが再び閉まらないように手近な物をはさみ込む。
- ・非常時にはベランダが、避難路になるため、隣家との境に物を置かない。

落下物 あわてて外に飛び出さない

- ・地震の時、あわてて外に飛び出すと思わぬケガをすることがあるので、周囲の状況をよく確かめ、落ち着いて行動する。

室内のガラスの破片に気をつけよう

- ・割れたガラスの破片による事故を防ぐため素足では歩かない。後片付けをする時には、厚手の手袋をする。
- ・停電に備え、懐中電灯を用意しておく。長時間の使用に備え、予備の電池も用意する。

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

- ・わが家の安全を確認したら、隣近所の安否を確認し、お互いに助け合う。
- ・地震が発生した時の出火防止や初期消火について、家族の任務分担を決めておく。
- ・隣近所どうし、地震発生時の協力体制について話し合って決めておく。
- ・家族が離ればなれになった場合の連絡方法や集合場所を決めておく。この春に配布した「災害時伝言ボード」をご活用してください。

協力し合って救出・救護

- ・地震時には、家屋の倒壊や家具類の転倒・落下により下敷きになった人たちを地域ぐるみで救出し、けが人がいたら応急手当を行う。

避難の前に安全確認 電気・ガス

- ・避難する前には、アンペアブレーカーを切り、ガスの元栓を締め、電気・ガスに起因する火災の発生を防止する。
- ・使用後は電気器具のスイッチを必ず切るとともに、差し込みプラグをできるだけコンセントから抜く習慣を身につける。

門や塀には近寄らない

- ・外にいる時、グラツと来たらブロックなどの塀には近寄らない。ブロックなどの塀の近くにいたら、すぐにその場を離れる。

正しい情報 確かな行動

- ・ラジオ、テレビや消防署・市などから情報を得る。
- ・デマや根拠のない噂で惑わされたりしない。
- ・避難先は前もって自分で歩いて確かめておく。
- ・携帯ラジオなどを備える。電池切れに注意するとともに、予備の電池も用意する。
- ・日頃から避難する際の持ち出し品を準備しておく。

*今回の「防災訓練」では災害時避難用品や家具転倒防止器具を展示しますので参考にしてください。